

認知症サポーター勉強会交流会



令和8年7月24日（金）午後1時30分～3時30分、ケアギルド（弥生2-15-13）で開催しました。

令和5年度・6年度・7年度に認知症サポーターステップアップ講座を修了した11名にご参加いただきました。



勉強会 分かり合う・繋がり合う ～都内在住のK様と奥様～

☆ゲストのお2人とユアハウス職員によるトークセッション

ご自身の経験や思い、普段の過ごし方などのお話や、家族から見たご本人の変化など参加者からの質問への回答も交えつつ、お話しいただきました。



【参加者の感想】

- ・認知症のある方の生の声を聴けてよかった。今を生きることの大切さを学んだ。
- ・このような会に参加することでサポーターとしての活動のモチベーションが高まった。
- ・自分のやりたい事や好きな事を日常的にできる環境をつくるのが、自分らしく生きるために大切であると感じた。

◎もの忘れの症状がない認知症の症状もあるということ、認知症と診断されても自分らしく生きるためのヒントをいただき、「認知症を自分事として考える」ということを軸に学びを深めました。



交流会 サポーターさん同士で語り合いましょう

3グループに分かれて、下記のテーマで意見交換を行いました。

テーマ① 第1部の話を聞いて、自分ではどんなサポートが出来ると思いますか？

- ・自分がしたいことでなく、相手がしてほしいことや望んでいることを考える。
- ・元気でいてもらうことが一番なので、物忘れがあっても以前と変わらず普通に接する。
- ・認知症の症状について、珍しい症例もあるということ広めていく。
- ・認知症に対する様々な取り組みを、若者含め世間に広めていく。
- ・相手に合わせて待つことが大切だと思う。傍らにいて寄り添うだけでも意味がある。



テーマ② 自分が認知症になったら、どんなサポートをしてもらいたいですか？

- ・認知症の症状で物忘れがあったり、困っていたりしても優しくしてほしい。責めないでほしい。
- ・自分の好きな事ができるようにサポートをしてほしい。
- ・気軽に集えて人とおしゃべりできる場所が近所にほしい。
- ・自分の話に傾聴してほしい。

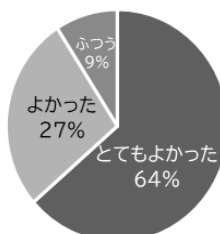


アンケート結果

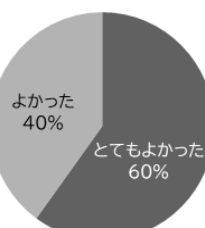


次回は令和9年2月9日（火曜日）

勉強会の感想



交流会の感想



参加によりサポーターとしての意識の高まりや今後の意欲に繋がったか

